

トークセッション

阪神・淡路大震災から30年

震災で出会った 子どもたちのこと

～ピントゥーラの活動を振り返って～



阪神・淡路大震災から30年。ピントゥーラは発災直後から画材を担ぎ、避難所を中心に絵描き工作会を行ってきました。当時のピントゥーラが出会った子どもたち。再訪するたびに感じられた、お互いの変化。ワークショップから発展したアート支援活動「ピント君アートプロジェクト」、発達障がいをもつ子どもたちと続けた活動など。「災害時、子どもたちにアートはどんな支援ができたのか？」をテーマに、トークセッションを行います。

災害時、子どもたちに
アートはどんな支援が
できたのか？



うえ だ そう いち
上田 壮一

1965年、兵庫県西宮市生まれ。東京大学大学院工学系研究科修了。広告代理店勤務を経て、一般社団法人Think the Earth設立、現在理事。以来、コミュニケーションを通じて環境や社会について考え、行動するきっかけづくりを続けている。主な仕事に地球時計wn-1、プラネタリウム映像「いきものがたり」、書籍『百年の愚行』『1秒の世界』『あおいほしのあおいうみ』ほか多数。多摩美術大学客員教授。

TALK SESSION

いまふく ふみよ

神戸生まれ。子どもたちと絵を描く会ピントゥーラ代表。現在、大手前大学建築&芸術学学部長。89年京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。主に天然染料の研究及び、天然染料を使用した作品を制作する。主な実績として、古代の最も高貴な色「紫」の研究、国内外で作品を発表。京都、大阪を中心に個展、グループ展多数。ピントゥーラ代表としては阪神・淡路大震災から子どもたちのお絵描き工作会、インドネシアスンバ島の小学校でピントくんワークショップ実施、モンゴルのストリートチルドレンの支援、LDの子どもたちとの10年にわたるお絵描き工作会などに関わった。

2025年

3/29 (土)



時間: 13:30 開場 14:00 開演

場所: 大手前大学 メディアライブラリー
CELL〈フォーラム〉



企画・運営: 大手前大学 建築&芸術学部



大手前大学

阪急夙川駅、阪神香櫨園、JRさくら夙川駅より徒歩7分
大手前大学(さくら夙川キャンパス)
兵庫県西宮市御茶家所町6-42/TEL:0798-34-6331(代)

展覧会、関連イベントの
お問い合わせは

0798-
32-5017

(美芸院)

平日のみ 9:30~16:30

